

ひの 議会だより

No. 85

平成22年2月発行



無病息災を祈ってトンドさん（黒坂地区）

－ 主な内容 －

| | |
|-----------------|---------|
| 議長年頭あいさつ | P 2 |
| 12月定例会・臨時会 | P 2～3 |
| 一般質問（5名） | P 4～8 |
| 決算審査指摘事項の取り組み状況 | P 9 |
| 視察研修報告 | P 10～11 |
| 町民の声・意見書 | P 12 |

皆さまとの対話を基本に



日野町議会議長 佐々木 秀明

新年明けましておめでとうございませす。

平成二十二年の輝かしい新春を、ご健勝で穏やかに迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年は、世界の経済不況に対応した経済対策が、政府により打ち出されました。地方自治体も本格的に事業のとりくみを始める中で、八月には衆議院議員選挙が行われ、政権交代となりました。マニフェスト実現のための事業仕分けに象徴されるように、政治や行政の手法も大きく変わろうとしています。

本町が、昨年、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、財政健全化団体に至ったことは、周知のとおりであります。

借金に当たる公債費の割合の実質公

債費比率が早期健全化基準を上回ったものであります。平成十七年から、皆様とともに実施している、財政再建への取り組みが功を奏し、先に見える財政推計へと移行しつつありますが、引き続き財政の適正化へ努めてまいります。

また、私たち議員の残された任期も、あと一年となりました。議会の活性化、透明性の確保、委員会の活発化などに取り組んできましたが、まだ課題も多くあります。

議員一人ひとりが果たすべき責務を再確認し、議会のあり方を問いながら、町民の皆様との対話を基本として、皆様の負託にこたえるべく更なる努力をしてまいります。

今後とも一層のご支援・ご鞭撻を頂きますとともに、皆様にとつて一年が健康で、実り多い年になりますよう、お祈り申し上げます、ごあいさつとします。

一般会計総額は33億5,192万円に

12月定例会

十二月定例会は、十二月十日から十八日までの九日間と会期を定め、平成二十一年度一般会計補正予算、特別会計補正予算四件、条例の一部改正二件、日野町財政健全化計画など二件を原案通り可決、承認。また監査委員の選任に同意、意見書二件を提出しました。

一般会計補正予算

百四十六万円を追加し、総額を三十三億五千九百九十二万五千円とした。

主なもの

【歳入】

○県支出金

二百四十一万九千円

(障がい者支援費負担金、新型インフルエンザワクチン接種助成補助金)

【歳出】

○障がい者自立支援費

五百二十万円

○新型インフルエンザワクチン接種者に対する助成金等

三百五十七万二千元

○消防団救助資機材搭載型車輛の無償貸付による登録諸経費

十三万六千元

監査委員

西古尚史氏(再任)の選任に同意した。任期は二十一年十二月二十一日から四年間です。

財政健全化計画を

本町の、実質公債費比率が国の示す基準を超えたため、地方公共団体の財政健全化に関する法律により策定した財政健全化計画を承認しました。

基本方針

- 適正規模の行財政運営を行う。(身の丈にあった行政サービス)
- 町債の計画的な発行により、中長期的な視点を持って行財政運営を行う。
- 経常経費の抑制。(物件費、人件費等)
- 財政規律を厳守し、重点的

な予算配分に努める。
 ○貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書の四表の整備を推進し行政改革に役立てる。

実質公債費比率を早期健全化基準未満とするための方策

- 負担金など義務的なものや住民の生命財産に係るもの等緊急性があるものだけ地方債を発行する。(今後予定される地方債を発行する事業)
- 臨時財政対策債、奥日野広域農道整備事業、広域基幹林道宝仏山線開設事業

小学校耐震工事、共同受信施設、町道橋梁修繕、防火水槽整備)

○平成十八年度から下水道料の引上げを実施し、準元利償還金繰出金の抑制をしております。引き続き抑制に努める。

- 西部広域行政管理組合、日野町江府町日南町衛生施設組合へ、負担金の軽減を図るなど引き続き事業の精査を求め。
- 日野病院へ、今後も健全経営化のための対策をとるよう求める。
- 人件費、補助費、物件費等の抑制を引き続き行っていく。

計画期間

平成二十一年度から二十五年までの五年間。

条例

○日野町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例及び日野町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

職員の給与改定に併せ、特別職の職員で常勤の者及び教育長の期末手当の支給月数を○・二か月引き下げもの。平成二十二年一月一日から施行。

○日野町職員の給与に関する条例等の一部改正

国の給与改定に準じて改正しようとするもの。行政職給与の俸給月額を平均○・二割引き下げ、期末勤勉手当の支給月数を○・三か月分引き下げ、また、自宅にかかる住居手当(月額二千五百円)を廃止の改正をするもの。平成二十二年一月一日から施行。

平成22年 第一回臨時会

一月十三日に開会し、一般会計補正予算、物品売買契約の締結、日野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正など五件について原案通り可決、また人権擁護委員候補者の推薦について適任とした。

○一般会計補正予算は、六十九万七千円を追加し、総額を

特別会計補正予算

(単位：千円)

| 区分 | 補正額 | 総額 | 歳出の主なもの |
|-----------|-----------|---------|----------------|
| 簡易水道 | 77 | 187,459 | 職員給与の改定によるもの |
| 公共下水道事業 | 75 | 151,924 | " |
| 介護保険 | (組替え) 120 | 634,451 | 在宅介護者支援金 |
| 後期高齢者医療保険 | △71 | 56,093 | 保険基盤安定の実績見込みなど |

三十三億五千二百六十二万二千円とするもの。

信用無線設備を購入しようとするもの。

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業費の増減で、追加されるものは、黒坂社会体育館の解体工事費など。

○日野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正(議員提出議案)の国の給与改定に準じて一般職の給与と同様に議員の期末手当の支給月数を○・二か月分引き下げもの。

また、県から旅券事務の権限委譲を受け、平成二十二年四月から役場窓口でパスポートの申請及び発行を行うもの。その交付端末機等整備など。

また、議員の報酬については、削減率を一二割から一割に改めるもの。平成二十二年四月一日から、平成二十三年三月三十一日まで。

人権擁護委員候補者の推薦

○公共下水道事業特別会計補正予算は、一千百二十二万一千円を追加し、下水道マンホールポンプ三か所六基を更新。
 ○物品売買契約の締結は、日野三土局・日野小原局移動通

・鳥居 良光氏(再任)
 ・山根美奈子氏(再任)
 適任とした。

健康福祉センターの充実を



佐々木周子議員

健康福祉・包括支援センターの移転

佐々木 昨年十一月再度、山村開発センターに移転された要因は何か。

町長 最近住民から役場の窓口では、相談がしにくい気軽に来れる場所をと要望があり、これに応えるため山村開発センターに再開。

保健相談室を一部改装し、皆さんが気軽に相談できるように一室を確保した。

佐々木 町長は、職員採用について将来の目線に立って、



気軽に相談できる窓口

包括支援センターの役割は重要
佐々木 高齢化率四〇割を超えている本町では、地域包括支援センターの役割は重要であり、保健・医療・福祉の連携が、不可欠と考える。

保健師・管理栄養士を各一名採用したと云われたが今後、地域に Outreach 住民とのコミュニケーションを図っていくことが、将来につながると思うが、地域進出をどう考えているか。

町長 さらに外へ出て行って特に一人暮らしの方たちの見守りや、色々と相談ののって頂きたいと思っている。

もう一つ大きな夢を抱いているのは、日野病院との連携で福祉センターへ病院のドクターに、週一回来て頂いて本町の将来を展望しながら、

保健師・管理栄養士・包括支援センターが、一体となつて意見交換が出来る場をつくっていきたくと思っています。

特に医療関係との連携は。町長 業務を進める上では日野病院の外、各介護サービス機関との連携が不可欠であり又、各ケアマネージャーと意思の疎通を図ることが重要である。

情報交換の場である地域ケア会議、医療・介護サービス機関との連絡会や勉強会等を随時行っている。

医療機関との連携は、退院後の在宅生活に向けた医療・介護サービスの提供について質の高い生活が維持できるように整備を進めている。

消費者センター設置

佐々木 開発センター内に開設された理由は。

町長 利便と、相談に使用できる一室があるから。

佐々木 看板は開発センターで、問い合わせは産業振興課でスムーズに対応できるのか
町長 来庁者は相談室へ案内開発センターは、担当課へ連絡する様になっている。

佐々木 対応は課の職員全員でされているのか。

町長 担当課長、職員が対応する。

議会のうごき

10月

- 16日 町村議会議員共済年金受給者鳥取県協議会創立四十周年記念大会
- 19日 県町村議会議長会役員会
- 21日 天皇陛下下拝謁及び皇居特別参観
- 22日 全国町村議会議長会創立六十周年記念祝賀会
- 23日 西部町村議会議長会連絡会
- 24日 いきいき、ひのふれあいまつり開会式
- 25日 日野町制五十周年記念植樹
- 26日 金持党発祥の地碑・除幕記念式典
- 27日 西部広域行政管理組合議会運営委員会及び定例会
- 27日 議会広報調査特別委員会
- 27日 県道西伯根雨線開通式
- 27日 町人権同和教育研究会
- 28日 総務経済常任委員会行政調査



松本 利秋議員

住みよい まちづくりを目指して

新過疎計画と 町政二期目の抱負

松本 自主財源の乏しい市町村にとつて頼みの綱である過疎法が来年三月末をもって期限切れとなるが、数年延長される様子です。

この過疎計画は、いわゆる町の総合計画のミニ版の性格を有するものであり、景山町の将来を展望する計画になると思います。

丁度今回は計画策定と、ともに景山町長が引き続き町政を担われるようになれば、二期目のスタートと重なりますので「まちづくりの夢」と併せて、引き続き町政を担当される意欲をお持ちか伺います。
町長 政権交代もあり、情報は入っていませんが、延長されると、新たな計画づくりが必要で

必要です。
今後は、一層高齢化が進む中山間集落の活性化や地域資源を生かした「ジゲ起こし」を推進し、町に若者が住み育てやすい環境づくりなどに目を向けたいと考えます。
引き続き町政を担当する意欲については、来る日野町長選挙に立候補し、有権者の「信を問う」ことにいたしましたので、ご理解ください。

まず、財政の健全化が一番の目標です。この日野町を小さいながらもキラリと光る町にしていきたいと念願し、それに向かって取り組みたいと思います。

自治会を元気に

松本 本町は高齢化が進み、五十二自治会のうち、十二自治会が高齢化率五〇割を超えています。

村を元気にするために、まず、人材発掘し、元気でやる気のある方に指導者になっていただくことが、

まちづくりの急務であると考えます。

町長 コミュニティーが薄れつつあるので、まちづくり町民会議の委員を自治会長から推薦して頂いたねらいの一つは、地域の多様な問題を皆で話し合い、地域に帰って自らそれを実践して頂けるよう願っているところです。



村づくりは地域住民が集まることから

村づくり交付金の 創設を

松本 自治会をより元気にするための誘い水として「村づくり交付金（仮称）」を創設できないか。

町長 本場に必要で集落の活性化に役立つのであれば多額のものは無理としても、創設することはやぶさかではないと考えています。

課題等を検討し、できるものなら創設してみたいと考えます。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--------------|------------------------|------------|----------------|-------------|----------------------|------------|-------------|--------------|------------|------------------|--------|------|-----------|-----------|-----------------|-----------------|---------------------|----------------|
| 26日 | 24日 | 22日 | 21日 | 18日 | 17日 | 16日 | 14日 | 13日 | 12日 | 10日 | 9日 | 5日 | 4日 | 4日 | 2日 | 1日 | 11月 | 30日 | |
| 県後期高齢者医療広域連合議定会定例会 | 日野病院組合議定会定例会 | 舟場産業文化祭 ひの郷会ふるさと交流会 | 黒坂小学校学習発表会 | 町体育協会理事会 大会 | 地方六団体地方分権調査 | 伯耆町議会総務経済常任委員会より行政調査 | 根雨小学校学習発表会 | 町グラウンドゴルフ大会 | 県町村議会女性議員研修会 | 町公民館まつり開会式 | 第五十三回町村議会議長会全国大会 | 例月出納検査 | 行政調査 | 教育民生常任委員会 | 進連盟理事会・総会 | 全国過疎地域自立促進連盟理事会 | 境港市・米子市議会より行政調査 | 中学校文化祭 境港市・米子市議会 | 町老人大会 全員協議会 |

CO₂削減は 林業振興で



中原 明議員

CO₂削減に山間地域で できるものは何か

中原 CO₂削減目標二五割の高いハードルが課せられた。山間地域で出来るものは何か。町長 地域で出来るのは、林業振興である。間伐を行うことで、国土保全、水源涵養、地球温暖化防止等の機能を発揮させ、木材価値を高め、CO₂削減に寄与できる。

中原 二五割削減を達成するため、排出権取引に巨額な金額が必要と言われている。二〇一二年迄に二酸化炭素を吸収する森林約三百三十万ha整備すれば、三・八割分の排出量が削減できる。県の森林環境保全税を活用して、推進すべきではないか。

町長 森林組合とタイアップして間伐促進をやっている。

予算編成の方法は

中原 各課が要求して仕分けする査定方式か。施政方針に基づき各課に予算枠を配分する方式か。

町長 各課の積み上げを個別に精査する査定方式です。財政健全化を最優先に行なう。

中原 課長補佐に権限を持たせ、チームリーダーで施策の



間伐の促進を

敏速な実行ができないか。

町長 課長、係長職を廃止してグループ制を目指したい。

全国学力テスト結果 公表を今一步深く

中原 全国学力テストの非開示の具体的弊害の序列化や過度の競争のおそれは、抽象的で悲観的、誤った認識と司法は一蹴した。この判断をどう認識されているか。

教育長 文部科学事務次官通知に基づき、実施した、司法判断に対する県教育委員会の判断を尊重する。

中原 鳥取県は、文科省に先立ち〇二年からスタートさせ、〇六年まで四回続けた学力調査は中学五教科、小学六年は四教科と多様であったが、開

示に反対の声は出なかった。町教育委員会は、なぜ同調したのか。

教育長 公の文書は原則公開すべきものと考えています。県教育委員会の決定を尊重したものです。

中原 司法判断は、文科省の実施要領が県条例を制限することができないと断言した。調査結果を広報ひので公表されたが、学校別、学級別の公表もすべきではないか。

教育長 昨年度の公表により各学校、各家庭において、課題に取り組があり、本年度は踏みこんだ内容にした。

開示請求等があれば、学年の公表はよいと理解しているが、本町は一学年一学級であり考えていない。

| | | | | | |
|-----|----|-----|-------------|-----|----|
| 27日 | 会 | 29日 | ふれあいJAまつり | 21日 | 総会 |
| 29日 | 会 | 30日 | 員会行政調査 | 18日 | 員会 |
| 12月 | | 1日 | 衛生施設組合定例会 | 15日 | 員会 |
| 4日 | 員会 | 10日 | 第七回町議会定例会 | 14日 | 員会 |
| 4日 | 員会 | 11日 | 総務経済常任委員会 | 11日 | 員会 |
| | | 11日 | 教育民生常任委員会 | 11日 | 員会 |
| | | 15日 | 第七回町議会定例会 | 18日 | 員会 |
| | | 18日 | 第七回町議会定例会 | 18日 | 員会 |
| | | 18日 | 西部町村議会議長会 | 8日 | 員会 |
| | | 13日 | 全員協議会 | 8日 | 員会 |
| | | 15日 | 議会広報調査特別委員会 | 15日 | 員会 |
| | | 18日 | 新年賀詞交換会 | 15日 | 員会 |
| | | 18日 | 員会 | 18日 | 員会 |
| | | 21日 | 西部町村議会議長会 | 21日 | 員会 |



小谷 博徳議員

農業施策 打つ手はあるか

移住若者に

メンタル支援を

小谷 若者定住による人口の増加が町政の課題である。四月からは農業に挑戦するといふ県外より移住した青年がいる。農業後継者が皆無の状況で成功事例としたい。町はどういう支援をしているか。

町長 関係機関と連携してUターン希望者を募っているがなかなか実現しない。空き家・町営住宅の紹介や整備も考えている。生活安定のために職業安定所の紹介、農業に關わる県の制度の紹介など親身になってお世話することで安心して定住できる環境作りを行っている。

小谷 金のかからない支援策に住んでいる集落と綿密な連携をとり、不安のない安心して住める環境作りや、農業委員会・農協・森林組合などと連携により情報を共有化して田舎暮らしの相互支援を行う等、メンタル面を重視した支援が必要ではないか。

町長 農業で生活出来るかというところ、そこに大きな懸念を抱く。気持ちだけでこの町に住居を構えても生活できない。しかし行政に出来ることにも限りがある。農業委員会や

農林振興公社を役場の中に置きこれらの機関と産業振興課が緊密な連携の中で実績を積みみたい。

農業施設機械に

補助金を

小谷 他町では農業施設、農業機械の改修・購入に五〇割の補助金を付けている。

本町は財政事情により農家が一〇〇割手出しをして購入している。町財政の単年度赤字が継続的となる推計も出ている。農家に補助金を考えてはどうか。

町長 町が補助金を出して行った支援策はほとんど成功事例がない。農家が色々な制度を勉強して、町が募集しなくても、農家が農業を志す確たる信念に基づいた将来展望を持った事業申請については、よく検証をして前向きに支援したい。

小谷 農家は自主的に申請したと思っ



農業機械の購入に補助金を

が、財政悪化で申請をためらっている。

補助金事業を情報開示して、平等性を確保し申請を審査する手順は踏めないか。

町長 補助金政策の事業を行った結果が、日本の農業の姿である。事業を行う人が、その責任で申請をすることが基本で、行政はどこで支援をするかよく考える必要がある。一年に二・三日しか使用ない機械を買う非効率の解消に農林振興公社を設けた。それを多いに活用することを考えてほしい。

鳥取県町村議会

議員研修会

平成二十一年十一月二十七日、北栄町で、県町村議会議長会主催による研修が開催された。

演題 「地方から国を変え

る」―議会のもつ改革の力―

講師 地方自立政策研究所

理事長（元埼玉県議

会議長・前志木市長）

穂坂邦夫氏

議会に求められている新たな地方改革、議会がリードする地域の活性化、議会が持つ地方改革の機能等を柱とした活性化のあり方について話をされた。

この研修会で、学んだことを参考にしながら、議会の改革・活性化に取り組んでいきたい。

演題 「鳩山政権でどう変わる日本」

講師 社団法人共同通信社

理事待遇論説委員長

西川孝純氏

政権交代による国政の変化を、永田町界隈の表と裏から見た政治家の姿を、面白おかしく話された。

一般質問

5人が立つ



佐々木 求議員

住民の生命を守る対策を

未収金の解決を

佐々木 日野病院の黒字転換は大きな意義があった。しかし政府のさじ加減で経営も大きく変わる。病院未収金の七割は町の責任部分です。

厚生労働省の通達にあるように、生活困窮者に必要な情報提供と支援を行い、病院と行政が一緒に対応すればおおよむね解決できる。政府が負担の五〇割をみるという今、解決へ対応すべきではないか。町長 過去に受診され支払いができない相談も数件ある。日野福祉事務所に相談し処置した事例もある。国が運用基準を示せばそれを受け、一部負担金減免制度の条例化も検討したい。行政として、背景を十分検証しながら対応していく。

「うつ病」対策を

佐々木 自殺者は平成十年以後十一年間で三万人を超え、県内でも二十年には二百二十人と過去最高で、全国六位の高さだ。一方、この六年間、十二万六千人の児童生徒が不登校です。老いも若きも病んだ社会だ。

地方自治法という、住民の生命を守る、この第一義に書かれている意味が問われている。

四人に三人は医療機関にかかっていると言われている。県とも連携し、対策を急ぐべきだ。ゲートキーパーの養成や、二次的被害を防ぐ支援などあるが、具体化を急ぐべきだ。

町長 町では平成九年から十九年までに十八名が亡くなっている。「心の風邪」とも言われているが、決して治らない病気ではなく、正しく理解し、早目に適切な治療につなぐことが大切だ。高齢者のうつ病はだれが発見するかということ、出かけることが大事だ。これぞまさに行政が取り組むべき仕事と認識している。

通学時支援は子育て支援

佐々木 議会、住民の見直しを求める要望に対し、教育委



早急にバス通学の見直しを

員会も見直しを表明されてきた。どこまで検討されているのか。

教育長 通学にかかわる内容を中心に検討中。現在の要項が、昭和五十七年からのもので、日ノ丸バス中心の時のものです。現在の犯罪など考え検討している。遠距離通学を基本にしなが、四月には見えるものにしていきたい。

町長 内部での協議は進めている。費用負担、財政等多くの課題を抱えているが早急の調整し、新年度にスタートするよう考えている。

請願審査報告

採択

二〇一〇年度年金の減額改定をおこなわないことを求める請願書

全日本年金者組合
鳥取県西部支部
支部長 増田 修治

学校給食 試食会に参加

小・中学校で行われた給食試食会に、議員が分れて参加。児童・生徒と会食し、学校の状況を視察した。



生徒と会食

議会指摘事項の改善

平成20年度決算について、9月定例会で設置した決算審査特別委員会が、指摘した事項の状況と取り組みについての報告を執行部より受けた。

| 指摘事項 | 改善・取り組み |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>一般会計・特別会計の合計未済額は、1億3,623万9千円に増大している。 収納率の向上に努められたい。</p> | <p>21年度より総務課長を統括として特別徴収チームを編成し7月より対応している。 未納者には面接等重ね、義務的意識の徹底・返済意識の高揚・返済義務感の醸成等、メンタル面の意識改革と併せて状況によっては回収のため、預貯金・有価証券などの調査、差し押さえなど強制執行を行使して収納率の向上に努めます。</p> |
| <p>日野町体育協会のあり方と総合型地域スポーツクラブ育成（Doスポーツ）との関係の明確化について検討されたい。</p> | <p>町の補助金を受ける日野町体育協会と、会員の会費により運営しているDoスポーツは全く別の組織ではありますが、生涯スポーツを通して町民の心身の向上を図ることは共通の目的であり、今後も町・体育協会・Doスポーツが連携して事業の実施・生涯スポーツの振興・健康づくりに努めます。</p> |
| <p>ぽかぽか教室の普及 「医療・福祉・保健」の推進は重要な課題であり、各課の連携等を図り全町普及に向け努力されたい。</p> | <p>町民が元気なうちに介護予防に取り組むことを目的に事業展開している。今年度から公民館が行う「出前公民館」の展開や社会福祉協議会の「ふれあいサロン事業」とも連携を図り、健康づくりを促進するため、普及・啓発を図り事業内容の充実に努めます。</p> |
| <p>町営バスについては超少子化の現状を踏まえ小中学生の通学利用について、子育て支援や交通安全の面からも、見直しの方向で検討されたい。</p> | <p>交通量の増加や多発する犯罪により保護者の不安も増し、自家用車の送迎も見受けられる状況を踏まえ、22年度を目途に通学児童・生徒の安心安全の確保を優先しながら、通学にかかる費用負担等見直しの方向で検討したいと考えています。</p> |
| <p>町道の維持管理について 委託業務範囲確認と、終了時の現場確認を徹底、効率的な管理、二次災害発生防止に努め、費用対効果を考え発注のこと。</p> | <p>町道の除草・清掃等の委託業務について、発注の際明確に作業内容の指示を行い、終了時には詳細な検査を行っている。費用対効果については、発注時期を考慮、二次災害発生防止には、巡回点検による防止策を講じながら、維持管理に努めます。</p> |
| <p>「(有)フレッシュひの」の清算について早急に行われたい。</p> | <p>裁判による清算は可能だが100万円くらいの経費がかかり、町としては、費用負担までして清算手続きはすべきではないと考えています。</p> |
| <p>公共下水道事業・農業集落排水事業特別会計は、一般会計繰入金が減額になるよう加入促進に努めること。</p> | <p>加入率の目標値（80%）の達成に向け、加入促進を図りながら経費抑制、繰入金の減額に努めます。</p> |
| <p>補助金の使途について一部の事業ではあるが、今後は、補助事業の主旨と目的をよく検証し実施すること</p> | <p>事業の目的、計画等検討した上で予算化し執行しているが、さらに内容等詳細に検証し、目的に沿った補助内容になるよう努めます。</p> |
| <p>不用額については、経費節減の成果であり評価する。一方において計画・確認・実行の不徹底による不用額があり、今後配慮されたい。</p> | <p>不執行による不用額については、内容等十分検証し、今後予算措置等を含め適正な事務事業に努めます。</p> |
| <p>リース契約書について、執行方法、契約業者を表示すること。</p> | <p>表示については、リース契約調書の書式を見直し表示することになります。</p> |

スピード感ある住民サービス

農林業の振興を重点施策に

愛媛県久万高原町

快適な高原リゾートの機能や農林資源が、住む、働く、遊ぶ、憩う人々の生活と調和した元気なまちづくりをめざしておられる愛媛県久万高原町を、視察研修しました。

久万高原町は中央部に位置し、四ヶ町村が平成十六年に合併した高原のまち。松山市から約三四キロ、総面積五八四平方キロ、人口一万五百四十人の町です。

町民に行政からの

約束ごと

- ひと、里、森がふれあい、ともに輝く、元気なまち
- 町民の皆様への久万高原町からの約束ごと。
- 明るい笑顔で接します
- すばやく正確に質の高い仕事をします
- ムダづかいをしません

○ 町民の皆様と歩みます

課の中に班を設置

①組織改革

平成十七年四月、二十二あった課長級ポストを十二に縮小。平成十八年組織改革により、課長補佐を廃止、班を設置する。班長に権限を与えスピード感ある住民サービスの提供が図られた。

②定員管理

欠員不補充、合併後五年間一般行政職採用なし。

③退職勧奨の特例制度導入、人件費の抑制

平成二十二年三月まで職員給与一律五割カット、管理職手当の減額、特殊勤務手当の見直し。

④人材育成の推進 全体研修の推進 外部研修の推進

行財政の合理化と改革の取り組みについて、高野町長から説明を受けた。

行政の基本的姿勢ではあるが認識を新たにしました。

久万の豊かな森林に抱かれて

農業は、久万清流米、夏収穫野菜（トマト、ピーマン）のブランド化、後継者育成を目的に「社団法人久万高原公社」を設立。農業の振興に努めている。

林業は間伐を推進、良質材の生産を目的に「流域林業活性化センター」を設立。高齢化で山林作業の困難な林業家から育林伐採作業等を受託、後継者育成に繋げる目的に「樹いぶき」を設立、林業の振興に努めている。



集成材を生産



森林組合直営の木材工場

庁舎での説明を聞き、木造建築の町立美術館、森林組合直営の集成材工場を視察した。美術館では、木の持つ特性が展示物に好環境を作りだす効果があると説明を受けた。

集成材工場は、年間六万立方メートルの原木を加工、売上額十二億円、地域材の有効活用と約四十人の雇用もあり、建築部材間柱を生産されていた。山間地に生きるには、地域資源を活用することが、地域振興の要である。それは「山である」と力強く話をされたことが心に残った。

施策に生かす

総務経済 常任委員会



先進地視察

教育民生
常任委員会



たのしみながら英語の授業（4年生）

幼保小中高一貫的教育

京都府久御山町

本町が、本年度から小学校・中学校の一貫教育に取り組んでいることから、教育民生常任委員会は、京都府久御山町を視察研修しました。

久御山町は、京都駅より南に電車で二十分。面積は一四平方キロの平野で人口は一万七千人。工場がたくさんあり収入の内、町税が六五割を占

め、財政の豊かな町です。町内に保育所三、幼稚園三、小学校三、中学校一、高等学校が一つある。

最初に教育長、議長、副議長、委員長に町の概要や幼・保、小・中、高一貫的教育の取り組みについて説明を受け、意見交換の後、小学校等で教育現場を視察しました。

幼保が就学前教育

久御山町では、幼保小中高の接続を目指した教育活動が進められており、平成十八年度からは幼稚園と保育所との一体的な運営が始まり、五歳児の幼稚園籍児と保育所籍児とが幼稚園内で就学前教育を受けています。

午前中は主に町の就学前教育カリキュラムに基づいた活動を行い、給食を食べる。午後は主に幼稚園籍児が帰宅した後、保育所籍児が園舎内で保育を受ける。

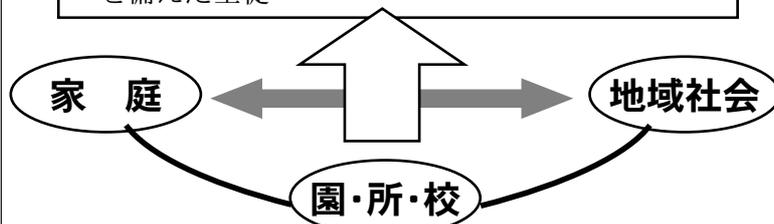
こうした特色ある教育活動の上に立ち、幼保小、小中、小高間の連携を一層深め、幼保小中高連携の具体化を目指していこうとしています。

特に、小学校は幼稚園、保育所と隣接しており日常的な交流を行いやすいことから、幼保小連携の内容を一層深めつつ、事前の打ち合わせを大切にした一体的な運営を基盤とした充実を図っています。また、全教職員が「十五歳

平成21年度くみやまタウンキャンパスプラン

めざす生徒像（15歳像）

- 自尊心、自律心を持ち、自ら未来を切り拓く生徒
- 生きる力の基となる学力や人権感覚、健康と体力を備えた生徒



15歳の希望進路の実現を見据えた久御山町の教育

- * 幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校の連携接続の基、一貫した教育の展開
- * 子育て支援や地域との連携を基軸とした家庭・地域教育力の再生

の希望（進路の実現）」を目標とし、幼保小中高連携接続を基盤とする一貫した「五年度計画の推進」による学力の充実向上を図り、調和と統一のある綿密な全体計画、年間指導計画を作成して実施されています。

三校ある小学校では、「十五歳の希望進路の実現」のため、英語推進校、算数・数学推進校、国語推進校を設けてお互いに学校間で競い合わせての授業の成果を上げている

と話がありました。

家庭、地域の一体的な取り組みが必要

本町の小・中一貫教育を進める上において、学校教職員の間は勿論であるが、PTA、家庭、地域が一体的になつて取り組むことが大切であり、また、幼年期（保育所）からの一貫教育が必要であると感じました。

声

(2)

84号より町民の皆さんの「一言」を掲載しています。ご意見をお寄せください。

魅力ある日野町

恩田さえ子（黒坂）

日野町にお嫁にきて早十三年、体の弱い私にはとてもよい環境だと実感しています。

黒坂小、JR黒坂駅、地元のスーパー、郵便局に診療所等が近く、歩いていける範囲にあるので便利です。

車で出れない時に子供におつかいを頼めるのも利点です。義父母の作ってくださった野菜、京では高級だった新鮮な



魚が普通に食卓に上がるのも有難く、ぜいたくな暮らしだと思います。

ただ保育所の統合で遠くになつて車で送迎しないといけないのは残念ですが、たまの雪の日は運転が怖くてお休みする事があります。雪さえなければ―それは大人の考えであつて、子供には最高のお楽しみです。

雪合戦にかまくら作り、私にとつては、雪かきは、こちらに来て初めての体験で子供と共に雪遊びになつたりしています。
インターネットも楽しんでいきます。ケータイでパソコンにつないで、都会と何ら変わる事無く便利でネットショッピング等を楽しんでいます。

意見書を提出

(抜粋)

電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書

電源立地地域対策交付金の水力発電施設周辺地域交付金相当部分（水力交付金）は、水力発電ダムに関わる発電用施設・周辺地域の住民福祉の向上と、電源立地の円滑化に資することを目的に創設されたものであり、この水力交付金を活用し、より住民生活の利便性向上を図っている。国におかれては、平成二十二年度末をもって多くの関係市町村で交付期限を迎える水力交付金について、過去三十年間にわたる交付実績や、今後とも安定的な水力発電を維

持する必要性があること等考慮の上、平成二十三年度以降は恒久的な制度とすることと、交付条件の改善や事務手続きの簡素化を図られることを要望する。

提出先
経済産業大臣、財務大臣、総務大臣。

改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

一 改正貸金業法を早期に完全施行すること。
二 自治体での多重債務相談体制の整備のため相談員の人員費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の充実を支援すること。
三 個人及び中小事業者向けのセーフティネット貸付をさらに充実させること。

のカーヌー体験にはまって、シリーズには大会に出たりもしています。主人はラフティンクのガイドで日野川を楽しんでいます。

空気がよいのが一番、山深いです。意外に便利で子育てには最適です。先生方には少人数制で目が行き届いた指導をしていただいています。住めば都とは日野町のことと実感しています。

四 ヤミ金融を徹底的に摘発すること。

提出先
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣及び関係大臣など。

あとがき

金持神社の正月三が日の初詣は、過去最高の約一万二千人が訪れ、にぎわったとか。これが本町のまちづくりには、つながればと期待します。▼政権交代で地方中山間地は何か変わって行くのでしょうか、先行き不透明です。政府予算案では公共事業費は一八・三割の大幅削減となり「コンクリートから人へ」の転換を印象づけました。この厳しい時局を町民・行政・議会が一丸となつて乗り越えていかなければなりません。

委員 松原直人

議会広報調査特別委員会

委員長 佐々木周子

副委員長 松本 利秋

委員 中原 明

委員 小谷 博徳

委員 松原 直人